

【別紙】簡易な検討の計算表(定量評価)

事業名		木川第1住宅1、2号館 建設工事		八幡屋第1住宅2号館建 設工事		三軒家住宅8号館建設 工事		長吉長原北住宅1号館 建設工事		西喜連第2住宅1号館建 設工事		算出根拠等	
事業内容		市営木川第1住宅1～4・6号館跡に新1,2号館を建設		市営八幡屋住宅11～13号館跡に新2号館を建設		市営三軒家住宅8号館跡に新8号館を建設		市営長吉長原北住宅2・4・6・8・10号館跡に新1号館を建設		市営西喜連第2住宅3～8号館跡に新1号館を建設			
		従来手法	BT方式	従来手法	BT方式	従来手法	BT方式	従来手法	BT方式	従来手法	BT方式	従来型手法	選択したPPP/PFI手法 (BT方式)
①	整備等費用 (運営費除く)	22.4億円	21.3億円	10.3億円	9.8億円	13.6億円	13.0億円	29.1億円	27.7億円	25.6億円	24.4億円	過去の契約実績による戸当たりの単価をもとに算出	従来型手法より5%削減の想定(一般的な施設の場合10%が目安とされているが、設計の標準化が進んでいることなどによりコスト削減が図られていることを考慮)
②	運営費等費用	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	—	—
③	利用料金収入	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	—	—
④	資金調達費用	0.9億円	0.8億円	0.4億円	0.4億円	0.5億円	0.5億円	1.2億円	1.1億円	2.7億円	2.6億円	想定される起債充当率、起債利率、起債償還方法(償還期間、償還方法)をもとに算出	想定される起債充当率、起債利率、起債償還方法(償還期間、償還方法)をもとに算出
⑤	調査等費用	—	0.25億円	—	0.25億円	—	0.25億円	—	0.25億円	—	0.25億円	従来型手法の場合は想定せず	0.25億円(導入可能性調査の費用及びその後の業務委託の費用の想定)
⑥	税金	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	従来型手法の場合は想定せず	—
⑦	税引後損益	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	—	0.00億円	従来型手法の場合は想定せず	—
⑧	合計	12.1億円	11.7億円	5.6億円	5.5億円	7.4億円	7.2億円	15.7億円	15.2億円	15.6億円	15.0億円		
⑨	合計(現在価値)	8.3億円	8.1億円	3.8億円	3.9億円	5.1億円	5.1億円	10.8億円	10.5億円	10.7億円	10.4億円		
⑩	財政支出削減率 (VFM試算)	/	2.00% (0.2億円)	/	-1.50% (-0.1億円)	/	0.10% (0.0億円)	/	2.70% (0.3億円)	/	2.70% (0.3億円)		
⑪	その他 (前提条件等)											事業期間30年間、割引率2.6%	事業期間30年間、割引率2.6%、BT方式